

シンポジウム：

アジア民族造形学会 創立10周年記念九州国際大会

ーアジアの民族造形から九州を考えるー

『アジア民族造形学会』は、アジアの人々が日常の暮らしの中で用いる衣、食、住、信仰、学び、芸能、遊び、生産などに係わる《もの（民族造形）》の本質を究めることでアジア諸民族の多様な実像を学ぶとともに、《もの》づくりのための自然文化環境の保全、後継者の育成、本来の創造とそれらの《もの》の利用など、幅広い活動を展開することで、アジア認識の高揚と相互の交流をはかることを目的に設立された学会です。

創立10周年を迎えた今年、それを記念する研究大会が九州国立博物館で開催されます。今大会は韓国の亜細亜民族造形学会及び九州国立博物館との共催で実施し、日本だけでなく韓国、中国、イランの専門家も参加して多彩な内容で研究発表が行われます。

学会員以外の一般の皆さまも無料で参加・聴講できます。皆さまの多数のご来場をお待ちしております。

○ 日時 平成19年8月24日（金） 10：30～17：10
8月25日（土） 10：00～16：00

○ 会場 九州国立博物館 1F ミュージウムホール

○ 主催 アジア民族造形学会、韓国・亜細亜民族造形学会、九州国立博物館

○ 後援 福岡県、太宰府市、西日本新聞社

○ 参加費 無料

○ 問い合わせ

九州国立博物館展示課（担当 楠井）

TEL：092-929-3297

○ プログラム（プログラムは変更となる場合があります）

8月24日(金) 第1日目

【開会行事および基調講演 10:30～12:10】

- 大会委員長挨拶 楠井 隆志 （九州国立博物館主任研究員）
学会長挨拶 金子 量重 （アジア民族造形学会）
「21世紀は〈アジア〉と〈博物館〉の時代」
来賓祝辞 井上 保廣 様 （太宰府市長）
来賓祝辞 古川 貞二郎 様
（元内閣官房副長官、恩賜財団母子愛育会理事長）
基調講演 三輪 嘉六 （九州国立博物館館長）
「文化財保護事始め — 民族造形の立場 —」

【研究発表 13:30～17:10】

- ① 大木 道雄 （彫刻家・アーティスト）
あらたなる創造世界の地平
— 辺境の地における人々の協働・こころのつながり —
- ② 中村 次郎 （画家・松本美術館理事）
道祖神の心と形—その誕生と造形的考察— 信州松本平の道祖神—
- ③ 畝部 俊也 （名古屋大学大学院文学研究科助教授）
タイ仏教写本「プラ・マライ」について — 説話とその図像表現 —
- ④ 宮木 慧子 （前九州産業大学芸術学部教授）
東北アジアにおける陶磁器用ワラ包装の造形1
— 陶磁器産地別ワラ包装形態の分類 —
- ⑤ 滝田 項一 （作陶家 白磁）
ペルシャブルーと漢の緑釉

- ⑥ 韓国 ^{lee} 李 ^{chang gyeong} 昌 晁 (新丘大学教授 (元学長))

朝鮮時代における韓日図書交流の文化史的意義

- ⑦ 韓国 朴 充 美 (文化財専門委員)

韓国の2～6世紀の古代織物

- ⑧ 韓国 ^{oh} 吳 ^{se} 世 ^{woong} 雄 (新丘大学教授)

藏書閣王室図書表装織物・内紙の分光測色研究

- ⑨ 中国 ^{chan} 張 ^{jon} 建 ^{se} 世 (西南民族大学教授)

中国西藏翁達崗村的銅佛像打制工芸

- ⑩ 中国 ^{yang} 揚 ^{jon} 正 ^{mun} 文 (西南民族大学 民族研究院 教授)

夾江手工製紙の民俗慣制

8月25日(土) 第2日目

【研究発表 午前の部 10:00～12:00】

- ① 橋元 慶男 (岐阜聖徳学園大学教養学部教授)

韓国の教師たちの授業・学校づくりに関する研究

- ② 西念 秋夫 (西念陶器研究所長)

よみがえるパナリ ～パナリ土器復興の30年～

- ③ 小林 公治 (九州国立博物館資料登録室長)

中国東北部のシャーマン衣装について

－九州国立博物館寄託品についての予備的検討－

- ④ 韓国 ^{cho} 崔 ^{un} 銀 ^{su} 水 (韓国国立民俗博物館学芸研究士)

シベリアのトウバ族の衣の造形

⑤ 中国 金^{キム} 藝^{イェ} 風^{フン} (西南民族大学 芸術学院 音楽部 作曲教師)

中国美族多聲部民謡の音楽的研究 —音楽構造を中心として—

⑥ 中国 崔^{チュイ} 善^{ソン} 子^ザ (西南民族大学 芸術学院 音楽部 声楽教師)

中国美族多聲部民謡の音楽的研究 —歌唱方法を中心として—

【基調講演 13:30～14:00】

Kim youno sook (韓国・アジア民族造形学会 名誉会長)

「新たなる飛躍を祈って」

【研究発表 14:00～16:00】

① 日原もとこ・松井英明・水野谷梯子

(東北芸術工科大学・日本色彩研究所・東横女子短期大学)

プロジェクト調査研究、デジタルアーカイブス「紅花の源流を辿る」第5回目調査から

「渡来ルートにおける紅花の多様なプロフィール」

② 赤司 善彦 (九州国立博物館展示課長)

ベトナム・バーナー族の殯屋模型にみるギザギザグルグルの系譜

③ イラン アリ・ソレマニエ

(千代田トレーディング(株) 代表取締役 ミーリーコレクション代表)

ペルシア文化にみる生命の木

④ 徳永 幾久 (山形県立米沢 女子短期大学名誉教授)

江戸ちりめんと生命樹 II

⑤ 韓国 金^{キム} 時^ジ 徳^{ダク} (韓国国立民俗博物館学芸研究官)

韓国の婚礼

⑥ 山本 悦夫 (アジア民族造形文化研究所教授)

龍と鳳凰